

AI自動化を前提としたWordPress初期構築 チェックリスト

このチェックリストは、AIによる自動更新、自動生成、バッチ処理を前提としたWordPressサイトの堅牢な基盤を構築するために設計されています。各項目を確認し、安全かつ効率的な運用を目指してください。

1. データベース設計

AIによるデータ増加とパフォーマンス要求に対応するため、データベース設計は最も重要です。

- 1サイト1DBの原則の徹底:** 各WordPressサイトに対して専用のデータベースを割り当てていますか？
 - 共有データベースは、AIによるデータ増加時のパフォーマンス劣化、ロック競合、セキュリティリスクを増大させます。
- データベースユーザーの最小権限設定:** 各データベースユーザーは、割り当てられたDBに対する最小限の権限（SELECT, INSERT, UPDATE, DELETE）のみを持っていますか？
 - CREATE, ALTERなどの権限は、必要時のみ一時的に付与する運用を検討していますか？
- テーブルプレフィックスの変更:** デフォルトの `wp_` から推測されにくい固有のプレフィックスに変更していますか？
 - これはセキュリティ対策の一環であり、共有DB環境でのリスクを軽減するものではありません。
- データベース文字コードの設定:** `utf8mb4` を使用し、絵文字や多言語に対応していますか？
- データベースのチューニング:** `my.cnf`（MySQL/MariaDB）や `postgresql.conf`（PostgreSQL）で、AIによる高負荷処理に耐えるよう `innodb_buffer_pool_size` などのパラメータを適切に設定していますか？

2. セキュリティ対策

AI連携による新たなリスクを考慮し、多層的なセキュリティ対策を講じます。

- wp-config.php の保護:** データベース接続情報、認証用ユニークキー、APIキーなどの機密情報が適切に保護されていますか？
 - ファイルパーミッションは 644 以下に設定されていますか？
 - ABSPATH より上に配置するなど、Webサーバーから直接アクセスできない場所に配置することを検討していますか？
- APIキーの管理:** AI連携に使用するAPIキーは、wp-config.php で定義するか、環境変数として安全に管理されていますか？
 - データベースの wp_options テーブルに平文で保存していませんか？
- WordPressコア、テーマ、プラグインの最新化:** 常に最新バージョンに保ち、既知の脆弱性に対応していますか？
 - AIによる自動更新機能の導入を検討していますか？
- WAF (Web Application Firewall) の導入:** SQLインジェクションやクロスサイトスクリプティングなどの攻撃から保護していますか？
- ログイン試行回数制限:** ブルートフォースアタック対策として、ログイン試行回数を制限する仕組みを導入していますか？
- 管理画面URLの変更:** デフォルトの /wp-admin から推測されにくいURLに変更していますか？
- XML-RPCの無効化:** 不要な場合はXML-RPC機能を無効化していますか？

3. AI連携と自動化設定

AIによる効率的な運用を実現するための設定項目です。

- AI連携用プラグイン/スクリプトの選定:** 信頼性があり、セキュリティが確保されたAI連携ツールを選定していますか？
- APIエンドポイントの保護:** AI連携APIは、認証・認可の仕組み（APIキー、OAuthなど）で保護されていますか？
- 自動生成コンテンツの品質管理:** AIが生成したコンテンツの品質をチェックする仕組み（人間によるレビュー、AIによる自動評価）を導入していますか？

- バッチ処理のスケジューリング:** AIによるバッチ処理（記事生成、データ更新など）は、サーバー負荷の低い時間帯に実行されるようスケジュールされていますか？
 - wp-cron ではなく、OSの cron ジョブを使用していますか？
- ログ監視とアラート:** AI連携処理の成功・失敗、エラーなどを記録し、異常発生時にアラートが通知される仕組みを構築していますか？

4. バックアップと復旧戦略

AIによる誤更新やシステム障害に備え、堅牢なバックアップ体制を構築します。

- データベースの定期バックアップ:** サイトごとにデータベースの完全バックアップを定期的を取得していますか？
 - AIによる更新頻度に合わせて、バックアップ頻度（例: 毎日、数時間ごと）を調整していますか？
- ファイル（WordPress本体、テーマ、プラグイン、アップロードファイル）の定期バックアップ:** データベースと同時にファイルもバックアップしていますか？
- バックアップデータの世代管理:** 複数世代のバックアップデータを保持し、任意の時点にロールバックできる体制を整えていますか？
- バックアップデータのオフサイト保存:** バックアップデータを物理的に異なる場所（クラウドストレージなど）に保存していますか？
- 復旧手順の確立とテスト:** 障害発生時の復旧手順を文書化し、定期的にテストしていますか？
 - AI誤更新時の部分復旧（特定のテーブルのみのリストア）手順も確立していますか？

5. ステージング環境の構築

AIの新しい機能や設定変更を本番環境に適用する前に、安全にテストできる環境を準備します。

- 本番環境と完全に分離されたステージング環境:** ステージング環境は、本番環境のデータベース、ファイルシステム、ネットワークから完全に独立していますか？

- **本番環境と同一構成のステージング環境:** OS、Webサーバー、PHP、データベースのバージョン、WordPressのバージョン、テーマ、プラグイン構成が本番環境と同一ですか？
 - **データ同期手順の確立:** 本番データをステージング環境に安全に同期する手順（URL書き換えを含む）を確立していますか？
 - `wp search-replace` コマンドの使用を検討していますか？
 - **AIテスト環境としての活用:** AIの新しいロジックや自動化スクリプトを本番適用前にステージング環境で十分にテストしていますか？
-